資料 5-1　ボーリング調査結果

事業実施区域内で平成29年(2017年)３月に実施したボーリング調査地点の位置を図5-1.1に、ボーリング柱状図を表 5-1.1(1)～(2)に、地質推定断面図を図 5-1.2 に示す。

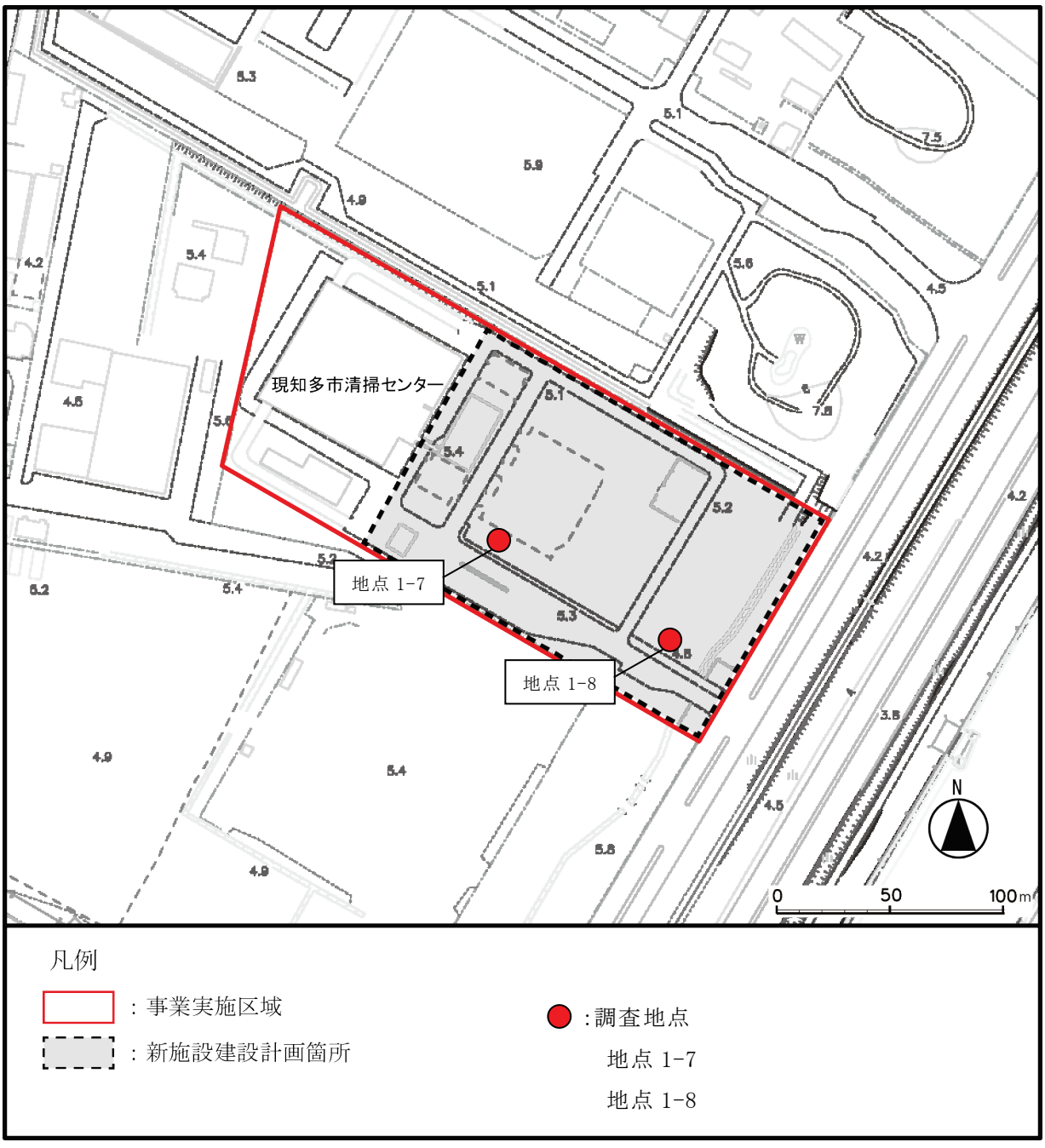

図 5-1.1　ボーリング調査位置図

表 5-1.1(1)　ボーリング柱状図（地点 1-7）

調　査　名　環境影響評価業務委託

事業・工事名

ボーリングNo. 5 2 3 6 4 6 0 9 0 0 0

シートNo.

ボーリング名	No.1-7	調査位置	愛知県知多市北浜町地内	北緯	35° 00′ 09.0000″
発注機関	西知多医療厚生組合	調査期間	平成29年 3月 8日～平成29年 3月 9日	東経	136° 51′ 51.0000″
調査業者名	一般財団法人 日本気象協会 電　話 052-912-9392	主任技師	上田　好修	現場代理人	上田　好修
				コア鑑定者	伊藤　圭司
				ボーリング責任者	小山田　政信
孔口標高	N.P. 6.12m	角度	180°（上）90°（下）0°	方向	北 0°　東 90°　南 180°　西 270°
総掘進長	32.45m	地盤勾配	水平 0°　鉛直 90°	使用機種	試錐機：YBM-1WA　ハンマー落下用具：半自動 エンジン：ヤンマーNF10　ポンプ：GP-5

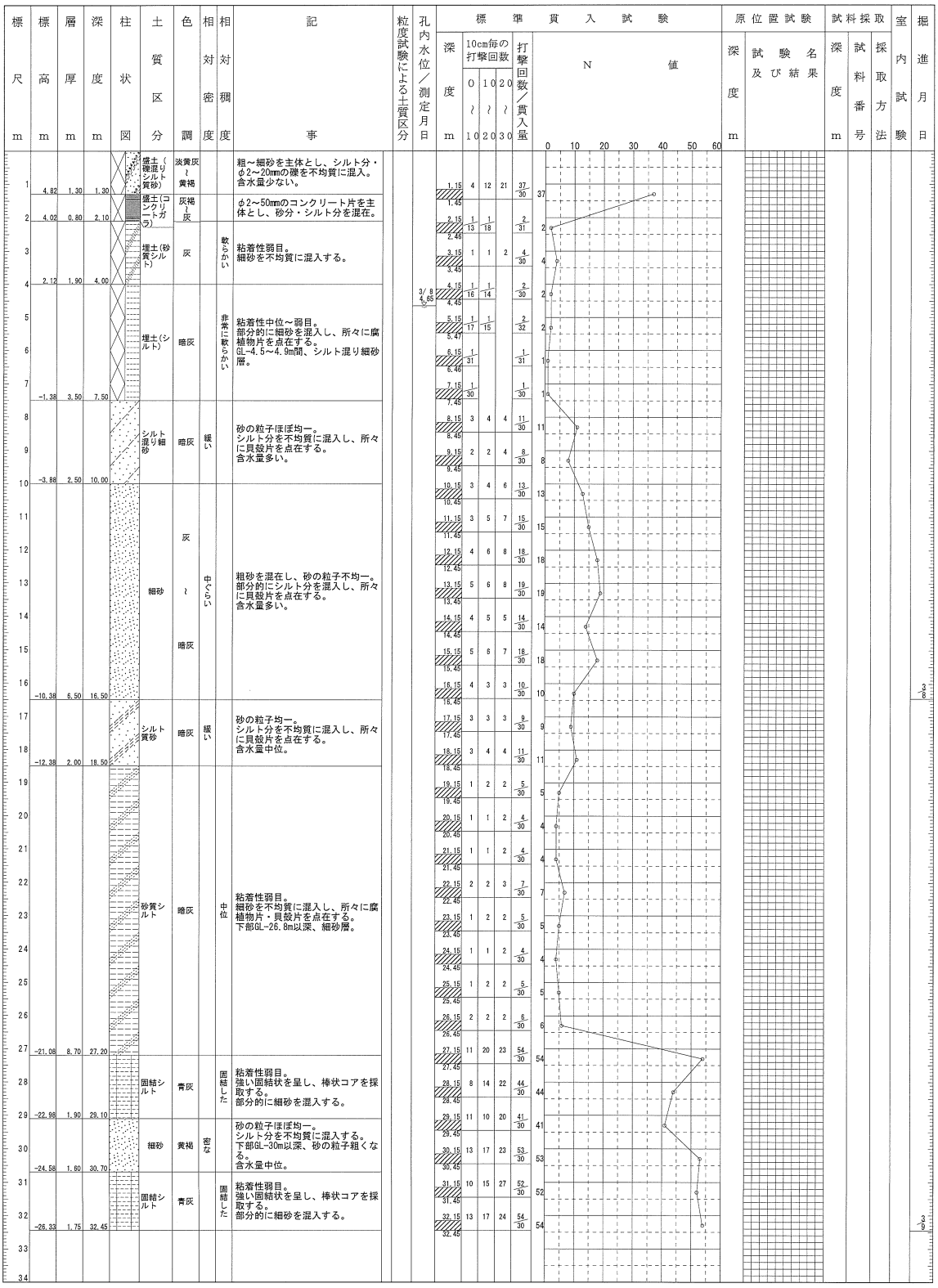

表 5-1.1(2)　ボーリング柱状図（地点 1-8）

調　査　名　環境影響評価業務委託

事業・工事名

ボーリングNo. 5 2 3 6 4 6 0 9 0 0 0

シートNo.

ボーリング名	No.1-8	調査位置	愛知県知多市北浜町地内			北緯	35° 00′ 07.0000″
発注機関	西知多医療厚生組合			調査期間	平成29年 3月10日～平成29年 3月13日	東経	136° 51′ 54.0000″
調査業者名	一般財団法人 日本気象協会 電　話 052-912-9392	主任技師	上田　好修	現場代理人	上田　好修	コア鑑定者	伊藤　圭司	ボーリング責任者	小山田　政司
孔口標高	N.P. 6.00m	角度	180°（上下）90°、0°	方向	北 0°、東 90°、南 180°、西 270°	地盤勾配	水平 0°、鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	半自動
総掘進長	32.35m								エンジン	ヤンマーNF10	ポンプ	V-6

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1					盛土(礫・砂混りシルト)	灰褐～黄灰～暗黄灰		中位	粘着性中位～弱目。φ2～30mmの礫・粗～細砂を不均質に混入する。地表部GL-0.2mまで及びGL-1.3～1.5m間は礫分多く、砂礫状。下部GL-1.5m以深、礫分少ない。		
2	3.20	2.80	2.80								
3					埋土(シルト)	暗灰		非常に軟らかい	粘着性中位～弱目。細砂を若干混入し、所々に貝殻片を点在する。下部GL-4.5m以深、陶器片を混在する。		
4	1.30	1.90	4.70								3/10
5					埋土(砂)	灰	非常に緩い		細砂主体。砂の粒子ほぼ均一。シルト分を若干混入し、所々に貝殻片を点在する。上部GL-4.9mまで、砂混りシルト層。含水量多い。		
6	-0.90	2.20	6.90								
7					シルト混り細砂	灰～暗灰	非常に緩い		砂の粒子ほぼ均一。シルト分を不均質に混入し、所々に貝殻片を点在する。上部GL-7mまで、砂混りシルト層。含水量多い。		
8											
9	-3.00	2.10	9.00								
10					細砂	灰～暗灰	中ぐらい		粗砂を混在し、砂の粒子不均一。部分的にシルト分を混入し、所々に貝殻片を点在する。下部GL-14m以深、φ2～10mmの細礫を若干含む。含水量多い。		
11											
12											
13											
14											
15											
16	-10.50	7.50	16.50								
17					砂質シルト	暗灰		中位	粘着性弱目。細砂を不均質に混入する。		
18	-12.00	1.50	18.00								
19					砂混りシルト	暗灰		軟らかい	粘着性弱目。細砂を不均質に混入し、所々に貝殻片を点在する。		
20											
21	-15.00	3.00	21.00								
22	-16.00	1.00	22.00		砂質シルト	淡灰		非常に緩い	粘着性弱目。細砂を不均質に混入する。		
23					細砂	暗黄褐～淡黄灰	中ぐらい		砂の粒子ほぼ均一。部分的にシルト分を混入する。含水量中位。		
24											
25	-19.60	3.60	25.60								
26					砂混り固結シルト	淡黄灰		固結した	粘着性弱目。棒状コアを採取する。下部位に従い細砂を多く含む。		
27	-21.50	1.90	27.50								
28	-22.30	0.80	28.30		粘土混り細砂	黄褐	密な		砂の粒子均一。シルト分を不均質に混入し、含水量中位。		
29	-23.00	0.70	29.00		固結シルト	青灰		固結した	粘着性弱目。部分的に細砂を混入する。		
	-23.50	0.50	29.50		細砂	灰	中ぐらい		砂の粒子ほぼ均一。含水量中位。		
30					固結シルト	青灰		固結した	粘着性弱目。強い固結状を呈し、棒状コアを採取する。部分的に細砂を混入する。		
31											
32	-26.35	2.85	32.35								
33											
34											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15～1.45	3	5	5	13/30	13
2.15～2.50	1/20	1/15		2/35	2
3.15～3.60	ハンマー自沈			0/45	0
4.15～4.60	ハンマー自沈			0/45	0
5.15～5.45	1	1	1	3/30	3
6.15～6.45	1	2	1	4/30	4
7.15～7.45	1/17	1/13		2/30	2
8.15～8.45	1/30			1/30	1
9.15～9.45	2	2	3	7/30	7
10.15～10.45	4	4	5	13/30	13
11.15～11.45	5	6	7	18/30	18
12.15～12.45	6	6	7	19/30	19
13.15～13.45	6	6	8	20/30	20
14.15～14.45	6	6	5	17/30	17
15.15～15.45	6	7	8	21/30	21
16.15～16.45	6	6	3	15/30	15
17.15～17.45	2	2	2	6/30	6
18.15～18.45	1/17	1/13		2/30	2
19.15～19.50	1/13	1/11	1/11	3/35	3
20.15～20.45	1	1	1	3/30	3
21.15～21.45	6	7	6	19/30	19
22.15～22.45	6	6	8	20/30	20
23.15～23.45	4	4	6	14/30	14
24.15～24.45	5	8	9	22/30	22
25.15～25.45	5	8	11	24/30	24
26.15～26.45	7	9	13	29/30	29
27.15～27.45	14	14	15	43/30	43
28.15～28.45	11	15	13	39/30	39
29.15～29.45	7	9	14	30/30	30
30.15～30.44	18	20	22/9	60/29	62
31.15～31.32	37	23/7		60/17	106
32.15～32.35	25	35		60/20	90

原位置試験 深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
				3/10
				3/13

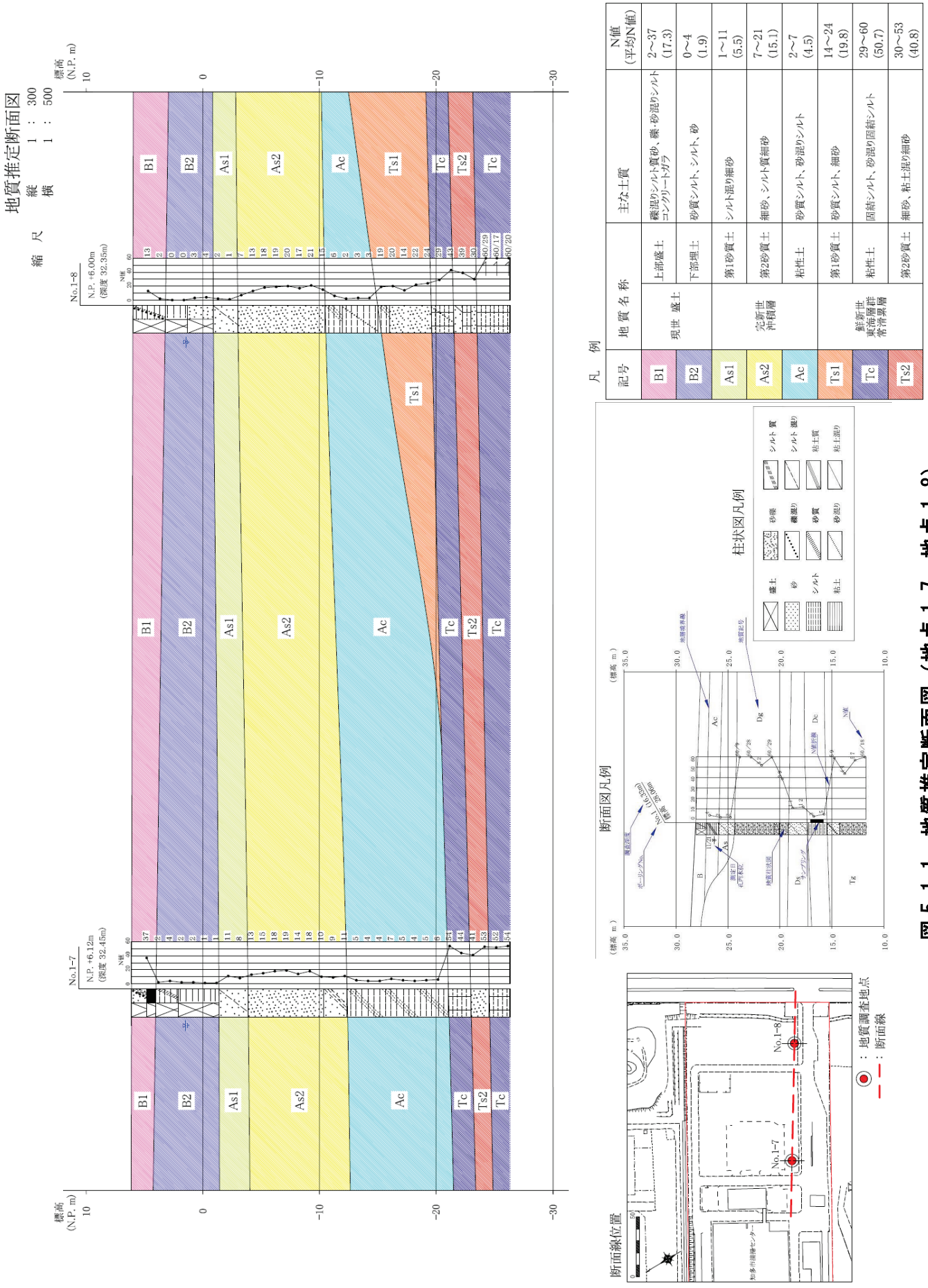

図 5-1.1　地質推定断面図（地点 1-7－地点 1-8）